

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和7年8月22日	担当部署	文化観光部 観光振興課
-------	-----------	------	-------------

※以下は令和7年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	ネクストリゾート上越 株式会社		
代表者	代表取締役 田知花 康彦		
	☒ 常勤	☐ 非常勤	☒ プロパー ☐ 市兼務 ☐ その他
所在地	新潟県上越市吉川区長峰100番地		
設立年月日	平成6年7月19日		
資本金	50,000千円	市出資割合	100.0%
設立目的	前身の柿崎総合開発株式会社は、当時の柿崎町が、「マリンホテルハマナス」と「ハマナスふれあいセンター」の管理運営を行うために設立した。 その後、Jーホールディングス株式会社の事業会社を経て、令和5年4月、同社が解散する際に、日帰り宿泊温泉施設4施設の指定管理業務の継続などを目的に全株式を取得し、法人名をネクストリゾート上越株式会社に変更した。		
主な事業	(1) 上越市の所有若しくは管理する不動産及び宿泊施設、温泉施設並びにその他の施設の管理運営 (2) 宿泊施設の経営 (3) 飲食店の経営		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	3	0	3	3	0	0
監査役	0	1	1	0	0	1
計	3	1	4	3	0	1

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	24	24	0
その他	57	57	0
計	81	81	0

5 事業実績（概要）

【第31期の経営状況】

- ・ 第31期（令和6年度）の売上高は、390,256千円（前期比15,578千円の増）、売上原価は79,241千円（前期比5,000千円の増）となり、売上総利益は311,016千円、経常利益は294千円、最終的な当期純利益は79千円を計上しました。
- ・ 上半期は、令和6年能登半島地震による北陸応援割が実施されたことや吉川ゆったりの郷での新メニューの提供などにより売上が増加しました。しかし、下半期は、物価高騰などの影響に加え、板倉保養センターでの浴室改修工事に伴う休館などがあったことから、厳しい経営を強いられました。
- ・ また、職員の高齢化などから人材確保が急務となっており、満室時や宴会受注時に効率的な人員配置ができるようアプリを活用した人材確保などあらゆる手立てを講じながら対応しているほか、SNSを活用してレストラン利用を促すなど、1法人で4施設を運営するメリットを活かしながら営業を行いました。

【第31期の主な取組】

- ・ 取締役会や総務・営業・施設管理の各部会を定期的を開催するなど、本社機能を更に強化することで、営業戦略の検討や情報共有、課題可決に向けた迅速な対応を行いました。
- ・ 人時生産性（職員一人の1時間当たりの収益）の向上を意識し、収益確保に取り組みました。
- ・ 一泊3食付きやお米付きなどの宿泊プランを設定し、宿泊売上の増加に努めました。

【平成30年度実績及び令和6年度収支計画との比較】（千円未満四捨五入、単位：千円）

科目・項目	平成30年度 実績 (※1)	令和6年度 収支計画	令和6年度 実績	平成30年度	令和6年度
				実績対比	計画対比
売上高	505,004	419,537	390,256	△114,748	△29,281
施設利用料 (※2)	402,976	340,122	310,708	△92,268	△29,414
指定管理料	49,072	79,415	79,548	30,476	133
その他(※3)	52,956	0	0	△52,956	0
売上原価	125,577	85,737	79,241	△46,336	△6,496
売上総利益	378,427	333,800	311,016	△67,411	△22,784
販売費及び一般管理費	414,756	322,218	313,205	△101,551	△9,013
うち人件費	227,563	167,813	161,420	△66,143	△6,393
営業利益	△36,329	11,582	△2,190	34,139	△13,772
経常利益	△31,086	12,182	294	31,380	△11,888
税引前当期純利益	△32,222	12,182	609	32,831	△11,573

※1 平成30年度実績値は、同社が令和4年度に策定した経営改善計画概要に記載したものです。

※2 売上高のうち、施設利用料には、飲食売上高及び売店売上高等が含まれています。

※3 売上高のうち、その他は、Jーホールディングス㈱の経営指導料等です。

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 29 期 自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日 (旧柿崎総合開発㈱)	第 30 期 自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日	第 31 期 自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	90,185	374,678	390,256
	売上原価	14,951	74,241	79,241
	売上総利益	75,235	300,437	311,016
	販売費及び一般管理費	84,645	310,514	313,205
	営業利益	△9,410	△10,077	△2,190
	営業外収益	9,856	17,418	2,490
	営業外費用	1	4	7
	経常利益	446	7,337	294
	特別利益	0	0	315
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	446	7,337	609
	法人税等	180	530	530
	当期純利益	266	6,807	79
項 目		令和 5 年 3 月 31 日現在	令和 6 年 3 月 31 日現在	令和 7 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	56,368	152,848	126,469
	負 債	21,063	54,692	28,234
	純資産	35,306	98,157	98,235
	資本金	50,000	50,000	50,000
	利益剰余金	△14,694	48,157	48,235
	その他	0	0	0

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

※ 令和 5 年 4 月 1 日に他の事業会社 3 社と合併し、4 施設の運営となりました。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
指定管理委託料	25,613	93,341	87,503	
柿崎マリンホテルハマナス	25,613	18,337	19,183	
大潟健康スポーツプラザ 鶴の浜人魚館（※）	(43,640)	50,127	45,565	
吉川ゆったりの郷（※）	(9,048)	7,705	8,125	
板倉保養センター（※）	(13,795)	17,172	14,630	

※ 令和4年度は、同社の前身である柿崎総合開発㈱が柿崎マリンホテルハマナスのみ管理運営を受託していたことから、その他の3施設の指定管理委託料（カッコ内）は参考値です。

(2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内訳	令和4年度 （※）	令和5年度	令和6年度	備考
① 補助金（助成金）	6,355	14,565	0	
エネルギー価格高騰補填金	6,355	3,980	0	
吉川事業所営業補償金	0	6,953	0	
能登半島地震損害補填金	0	3,632	0	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他（ ）	0	0	0	
計	6,355	14,565	0	

※令和4年度は、柿崎総合開発㈱（柿崎マリンホテルハマナス）の金額です。

8 市以外からの補助金・助成金等

(1) 受給額（税込）

（単位：千円）

内訳	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
① 障がい者トライアル 雇用助成金	0	360	0	
② 特定求職者雇用開発 助成金	0	0	600	
計	0	360	600	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

○ 事業計画（一部抜粋）

- ・ 単年度黒字を目標に管理運営に努める。
- ・ 基本方針に「あるがままに・身の丈経営」を掲げ、施設の維持管理の継続と長寿命化に繋げるとともに、お客様の満足向上のために職員自らができることに取り組む。

○ 収支計画

【全社】 (単位：千円)

売上高	416,753
うち施設売上	342,727
うち指定管理料	74,026
売上原価	87,437
売上総利益	329,316
販売費及び一般管理費	326,495
うち人件費	167,470
うち水道光熱費	94,437
うち修繕費	23,982
営業利益	2,821
経常利益	2,821
税引前当期純利益	2,821

【事業所別】 (単位：千円)

項 目	柿崎事業所	吉川事業所	大潟事業所	板倉事業所
売上高	110,697	126,915	106,438	72,703
うち施設売上	97,283	118,440	66,488	60,516
うち指定管理料	13,414	8,475	39,950	12,187
売上原価	19,816	30,670	17,815	19,136
売上総利益	90,881	96,245	88,623	53,567
販売費及び一般管理費	90,280	95,451	87,798	52,966
うち人件費	51,139	45,460	38,336	32,535
うち水道光熱費	18,621	27,080	37,580	11,156
うち修繕費	4,343	11,603	5,415	2,621
営業利益	601	794	825	601
経常利益	601	794	825	601
税引前当期純利益	601	794	825	601

(2) 中長期経営計画

基本理念

「好老社会に感謝でこたえ、新たな挑戦を続ける」

- ・ 各施設が設立時の思いに立ち返り、地域の高齢化の中でふるさとに人が集う場として変わらず存在し続け、引き続き地域に支えられることへの感謝
- ・ 創業時から大きく変化した社会の中で、第三セクターとしての新たなアイデンティティを構築するための挑戦

経営理念

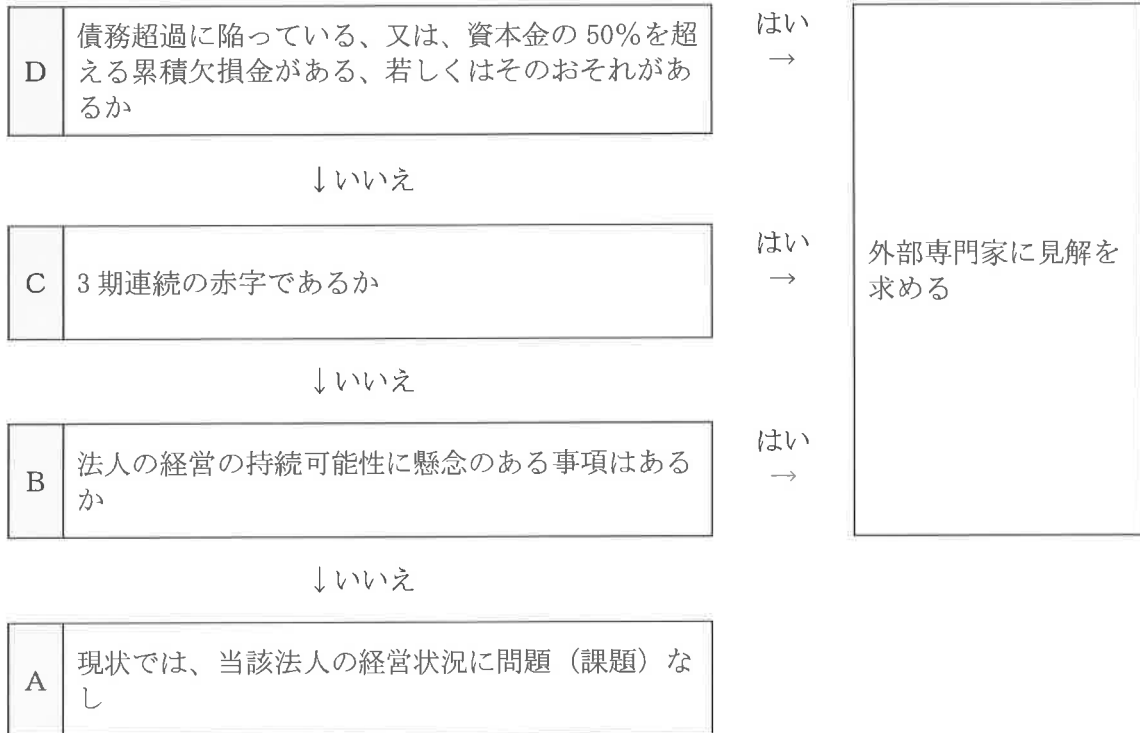
- ・ 地域の皆さんに愛される施設であり続ける。
- ・ 会社の挑戦を新たな成果に繋げる。
- ・ 従業員による改革を永続的な企業発展に繋げる。

※ 中長期の収支計画は策定しておりません。

10 令和7年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクターの経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクターに対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、外部専門家に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
【特記事項】 特になし		